

益田市・寧波市 友好交流30年のあゆみ

交流の由来

益田を終焉の地とする画聖「雪舟」が、室町時代中期に明国を訪問した際に、寧波の天童寺で僧堂の首座に就いたことに由来しています。益田市から昭和63(1988)年に初めて友好使節団を派遣し交流について協議を行い、平成3(1991)年10月20日に友好交流議定書を締結しました。以来、文化、スポーツ、農業、経済等のさまざまな分野で交流を続けています。

寧波市〈ねいはし・ニンポーし〉ってどんなまち？

天然の良港を持つ寧波市は、古くは明州(めいしゅう)や慶元(けいげん)と呼ばれ、日中交流史にたびたび登場します。大海原を渡った遣唐使が上陸し、鑑真や阿倍仲麻呂が日本を目指して船出しました。元寇の際には大軍が出港し、はたまた勘合貿易の拠点ともなり、ときには倭寇が侵入した港でもありました。

中国東南沿海部に位置する世界屈指の港湾都市で、寧波舟山港は13年連続で貨物取扱量が世界第1位、コンテナ取扱量も世界第3位を誇ります。



総面積 9,816km² **総人口** 約954万人

2016

・第二回寧波中・日・韓
アマチュア囲碁交流大会…①
・萩・石見空港マラソン全国大会へ
寧波市馬拉松代表団招請…②



2008

市民交流団訪問や中学生・技術研修員等の交流



2000年 寧波市友好代表団受入れ



1995年 益田市少年卓球チーム派遣



1991年10月20日
友好交流議定書締結式



2002年 益田市少年友好訪問団派遣



1997年 寧波市農業研修生受入れ



1993年 益田市経済視察団派遣

1991

友好交流議定書締結

令和4年12月20日

友好交流30周年を記念してオンライン記念式典を開催しました！



令和3年に友好交流30周年を迎えた両市は、当初、相互訪問による式典の開催を予定していましたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大のため1年の延期を経て、このたびオンラインで記念式典を開催しました。式典では、記念動画で30年のあゆみを振り返ったほか、記念品の交換が行われました。

市長挨拶および記念動画は益田市の公式YouTubeチャンネルで公開中です。ぜひご覧ください。



益田市から寧波市へ



〈日本画〉

作者 川崎麻央
作品題名 「海を渡る雪舟」

益田市出身の日本画家・川崎麻央さんは、2002年に「益田市少年友好訪問団」の一員として寧波市を訪問。文化交流やホームステイを経験されました。

寧波市から益田市へ



〈古代貿易船の模型〉

寧波は古くから海のシルクロードの出発点の一つとして栄えた町。両市交流の由来となった画聖・雪舟も舟に乗って寧波に渡りました。

4月号予告

30周年記念スペシャル対談！ 日本画家・川崎麻央 × 益田市長・山本浩章

【問い合わせ先】市観光交流課 ☎31-0106

両市の交流はこれからも続きます

★これまでの交流回数 100回以上
★これまでの交流人口 約1500人

- ・日中国交正常化50周年記念 青少年オンライン合唱交流…④
- ・寧波市図書館主催 青少年絵画コンテスト出品 (益田市の小学生が3等賞受賞)
- ・友好都市30周年記念式典



島根県立益田高校合唱部

2022

- ・寧波市職業技術教育中心学校 飛夢合唱団 グラントワ・カンタート動画出演
- ・友好都市30周年記念懸垂幕掲揚式
- ・オンライン農業交流会
- ・友好都市30周年記念写真展



寧波市職業技術教育中心学校飛夢合唱団

2021

友好交流議定書締結30周年

- ・益田市から寧波市赤十字社へマスク・防護服寄贈
- ・寧波市を含む中国国内企業および訪日企業・個人の方から益田市へマスク寄贈

2020

- ・益田市から寧波市赤十字社へマスク・防護服寄贈
- ・寧波市を含む中国国内企業および訪日企業・個人の方から益田市へマスク寄贈

2019

- ・グラントワ・カンタートへ 寧波大学芸術合唱団招請…③
- ・四明間秋山地マラソン大会参加



2017

- ・グラントワ・カンタートへ 寧波大学芸術合唱団招請…③